



2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年11月13日

上場会社名 株式会社ミダック 上場取引所 東 名
 コード番号 6564 URL http://www.midac.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 加藤 恵子
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画部長 (氏名) 高田 廣明 TEL 053-488-7173
 四半期報告書提出予定日 2020年11月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	2,795	15.3	914	54.7	900	59.8	471	64.1
2020年3月期第2四半期	2,424	△0.6	591	△7.9	563	△12.9	287	△14.6

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 471百万円 (64.1%) 2020年3月期第2四半期 287百万円 (△14.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	35.69	—
2020年3月期第2四半期	23.37	—

- (注) 1. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在していませんので記載していません。
 2. 2019年9月14日付で普通株式1株につき普通株式3株の割合で、2020年2月1日付で普通株式1株につき普通株式1.3株の割合で株式分割を行いました。2020年3月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり当期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	12,176	4,976	40.9
2020年3月期	11,919	4,382	36.8

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 4,976百万円 2020年3月期 4,382百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
2021年3月期	—	0.00	—	—	—
2021年3月期（予想）	—	—	—	5.00	5.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,430	4.2	1,579	5.6	1,527	5.5	846	6.4	63.92

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期2Q	13,386,750株	2020年3月期	13,386,750株
② 期末自己株式数	2021年3月期2Q	88,500株	2020年3月期	210,110株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期2Q	13,201,860株	2020年3月期2Q	12,285,649株

（注）当社は、2020年2月1日付で普通株式1株につき普通株式1.3株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期中平均株式数」を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、緊急事態宣言の発出により、経済活動は制限されるなど景気は急速に後退しました。緊急事態宣言解除後は、段階的な経済活動の再開は見られるものの、新型コロナウイルス感染症の終息時期は見通すことができず、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような状況におきましても、廃棄物処理業界は、国民生活を維持し経済を支える必要不可欠な社会インフラであり、公衆衛生の観点や医療活動の円滑化のために、新型コロナウイルス感染症に係る廃棄物を適正に処理しつつ、それ以外の廃棄物の処理についても安定的に業務を継続することを求められています。

当社の事業におきましては、引き続き収集運搬から最終処分までの廃棄物一貫処理体制を基盤とし、経済活動が停滞するコロナ禍においても、自社が保有する多数の処理施設と許可の優位性を発揮することで、廃棄物の受託量の確保に努めてまいりました。焼却施設等の中間処理施設に関しましては、積極的な営業活動によって稼働率の向上を目指しました。最終処分場に関しましては、受託量の拡大及び単価の高い廃棄物の受注に注力しました。

また、新規管理型最終処分場である奥山の杜クリーンセンターにおきましては、2022年4月以降の稼働に向けて工事の進捗管理を細かに実施しております。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は2,795百万円（前年同期比15.3%増）、営業利益は914百万円（同54.7%増）、経常利益は900百万円（同59.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は471百万円（同64.1%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① 廃棄物処分事業

建設業界、自治体、食品業界、医療業界等より排出される廃棄物の受託量が増加しました。また、自動車業界等におきましても、経済活動の再開が進むにつれて廃棄物の排出量も増加し、当社の廃棄物受託量も徐々に回復してまいりました。連結子会社である株式会社ミダックはまなにおきましては、大型の取引により搬入量は前年同期比で増加しました。以上の結果、売上高は2,321百万円（同15.8%増）となり、セグメント利益は1,054百万円（同32.7%増）となりました。

② 収集運搬事業

大型工事案件等の受注があったことにより産業廃棄物の受託量が好調に推移しました。一方で、一般廃棄物におきましては、飲食業界を中心に十分な売上回復には至らず、当社としても受託量は減少しました。以上の結果、売上高は383百万円（同10.8%増）となり、セグメント利益は85百万円（同115.6%増）となりました。

③ 仲介管理事業

大型工事案件等によって、協力会社への仲介が好調に推移しました。以上の結果、売上高は90百万円（同22.4%増）となり、セグメント利益は94百万円（同54.6%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は4,412百万円となり、前連結会計年度末に比べ271百万円減少しました。これは主に、現金預金の減少額266百万円等によるものであります。

また、固定資産は7,764百万円となり、前連結会計年度末に比べ528百万円増加しました。これは主に、土地等有形固定資産の増加額506百万円等によるものであります。

この結果、総資産は、12,176百万円となり、前連結会計年度末に比べ257百万円増加しました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は4,653百万円となり、前連結会計年度末に比べ71百万円減少しました。これは主に、1年以内返済予定の長期借入金の減少額34百万円、未払法人税等の減少額12百万円等によるものであります。

また、固定負債は2,546百万円となり、前連結会計年度末に比べ264百万円減少しました。これは主に、長期借入金の減少額253百万円等によるものであります。

この結果、負債合計は、7,200百万円となり、前連結会計年度末に比べ336百万円減少しました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は4,976百万円となり、前連結会計年度末に比べ593百万円増加しました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益471百万円を計上したこと等による利益剰余金の増加額405百万円等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年5月15日付の「2020年3月期 決算短信」にて公表しました連結業績予想から修正はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,756,479	3,490,455
受取手形及び売掛金	612,518	583,792
たな卸資産	49,514	50,504
その他	265,773	287,933
貸倒引当金	△719	△671
流動資産合計	4,683,567	4,412,015
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	504,866	489,515
機械装置及び運搬具（純額）	503,432	514,296
最終処分場（純額）	674,489	644,102
土地	1,343,722	1,845,610
建設仮勘定	2,063,941	2,103,802
その他（純額）	38,369	38,325
有形固定資産合計	5,128,822	5,635,652
無形固定資産		
のれん	1,398,231	1,273,018
施設設置権	240,600	220,550
その他	34,238	24,472
無形固定資産合計	1,673,070	1,518,040
投資その他の資産		
その他	437,907	610,931
貸倒引当金	△3,857	—
投資その他の資産合計	434,050	610,931
固定資産合計	7,235,942	7,764,624
資産合計	11,919,510	12,176,639

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	51,599	43,229
短期借入金	3,121,500	3,121,500
1年内償還予定の社債	48,000	38,000
1年内返済予定の長期借入金	547,252	512,266
未払法人税等	364,251	351,540
賞与引当金	74,822	76,570
その他	518,027	510,665
流動負債合計	4,725,453	4,653,772
固定負債		
社債	74,000	60,000
長期借入金	2,012,800	1,759,186
最終処分場維持管理引当金	574,499	592,528
資産除去債務	106,319	107,457
その他	44,240	27,688
固定負債合計	2,811,859	2,546,860
負債合計	7,537,312	7,200,633
純資産の部		
株主資本		
資本金	752,971	752,971
資本剰余金	1,385,576	1,499,772
利益剰余金	2,374,550	2,779,780
自己株式	△130,900	△56,517
株主資本合計	4,382,197	4,976,006
純資産合計	4,382,197	4,976,006
負債純資産合計	11,919,510	12,176,639

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
売上高	2,424,840	2,795,502
売上原価	1,136,613	1,154,544
売上総利益	1,288,227	1,640,958
販売費及び一般管理費	696,945	726,287
営業利益	591,281	914,671
営業外収益		
受取利息	100	99
固定資産売却益	4,302	5,189
不動産賃貸料	5,874	7,573
その他	1,493	5,345
営業外収益合計	11,771	18,208
営業外費用		
支払利息	24,271	26,787
その他	15,323	5,416
営業外費用合計	39,594	32,203
経常利益	563,458	900,675
税金等調整前四半期純利益	563,458	900,675
法人税等	276,282	429,562
四半期純利益	287,175	471,112
親会社株主に帰属する四半期純利益	287,175	471,112

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	287,175	471,112
四半期包括利益	287,175	471,112
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	287,175	471,112

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	563,458	900,675
減価償却費	206,312	189,377
のれん償却額	125,212	125,212
株式報酬費用	10,020	18,516
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△719	△3,904
賞与引当金の増減額 (△は減少)	3,991	1,747
最終処分場維持管理引当金の増減額 (△は減少)	15,003	18,028
受取利息及び受取配当金	△108	△107
支払利息	24,271	26,787
固定資産売却損益 (△は益)	△2,093	△5,189
売上債権の増減額 (△は増加)	14,259	28,726
たな卸資産の増減額 (△は増加)	4,387	△990
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	28,048	△22,039
仕入債務の増減額 (△は減少)	△6,903	△8,369
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△84,309	△25,438
その他	5,369	△2,006
小計	906,201	1,241,026
利息及び配当金の受取額	108	107
利息の支払額	△23,386	△25,321
法人税等の支払額	△343,531	△449,449
営業活動によるキャッシュ・フロー	539,391	766,362
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△352,252	△657,659
有形固定資産の売却による収入	6,881	5,913
無形固定資産の取得による支出	△750	△1,871
その他	1,017	3,373
投資活動によるキャッシュ・フロー	△345,104	△650,243
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	100,000	—
長期借入金の返済による支出	△326,719	△288,600
社債の償還による支出	△24,000	△24,000
自己株式の取得による支出	—	△3,659
配当金の支払額	△47,087	△65,883
財務活動によるキャッシュ・フロー	△297,806	△382,142
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△103,519	△266,023
現金及び現金同等物の期首残高	1,801,430	3,756,479
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,697,910	3,490,455

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2020年7月16日開催の取締役会決議に基づき、当社の子会社取締役に対する譲渡制限付株式報酬として、自己株式27,300株を処分いたしました。また、2020年7月29日開催の取締役会決議に基づき、当社の取締役(監査等委員である取締役を除く。)に対する譲渡制限付株式報酬として、自己株式96,410株を処分いたしました。

その結果、単元未満株式の買取りによる増加を含め、当第2四半期連結累計期間において、自己株式が74,383千円減少し、当第2四半期連結会計期間末において自己株式が56,517千円となっております。また、当第2四半期連結累計期間において、資本剰余金が114,196千円増加し、当第2四半期連結会計期間末において資本剰余金が1,499,772千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2019年4月1日 至2019年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	廃棄物処分	収集運搬	仲介管理	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,004,768	345,766	74,306	2,424,840	-	2,424,840
セグメント間の内部売上高又は振替高	89,800	72	75,018	164,890	△164,890	-
計	2,094,568	345,838	149,324	2,589,731	△164,890	2,424,840
セグメント利益	794,832	39,436	61,236	895,504	△304,223	591,281

(注) 1. セグメント利益の調整額△304,223千円は、セグメント間取引消去14,576千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△318,800千円であります。

全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自2020年4月1日 至2020年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	廃棄物処分	収集運搬	仲介管理	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,321,454	383,065	90,982	2,795,502	-	2,795,502
セグメント間の内部売上高又は振替高	91,834	72	103,831	195,738	△195,738	-
計	2,413,289	383,137	194,813	2,991,240	△195,738	2,795,502
セグメント利益	1,054,766	85,031	94,663	1,234,460	△319,789	914,671

(注) 1. セグメント利益の調整額△319,789千円は、セグメント間取引消去21,539千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△341,328千円であります。

全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。